

グリーティング

「万緑の中や吾子の歯生え初むる」

初夏の草木の生命力旺盛な緑と、子供の力強い成長を詠んだ中村草田男の句です。まさに今、万緑の季節に元気をもらえる一句だと思います。

S.K



技工情報

審美補綴、これがお奨め

審美の補綴物として、ジルコニアをはじめ色々ありますが、当社のお奨めはなんと言ってもエンプレス・e-max Press! ジルコニアは、技工料が高価。ハイブリッドジャケットはやや硬度的にやや劣り変色の心配が伴います。そこでお奨めなのが、オールセラミックのエンプレス・e-max Pressです。

今回は、このエンプレス・e-max Pressについてアイディシーからのお願いをさせていただきます。

形成

特に、インレーでMODの場合は形成にご注意下さい。コンタクトポイントとマージン部分が重ならないように形成して下さい。形成は裏面の「形成ガイドライン」を参考にお願いします。

ファイバーコア

メタルフリーだからこそその色調再現性。歯根破折の可能性が低く金属アレルギーの心配がありません。エンプレスは、基本的にオペーク色無し。従って、コア形成の場合の症例では、通常のメタルコアの場合、金属色透過の可能性がります。



部位

ブリッジは3本まで(7番を含まない)可能です。単冠ならばどの部位でも。

セメント

接着には、ファイバーコア、エンプレス・e.max Pressともにレジンセメントをお使い下さい。



インフォメーション (担当技工士紹介)

田代 修士(のぶひと)

プライベートは、テニス・蕎麦打ち、そして子供の成長が何よりの日々です。アイディシーの架工課では、8人の技工士と時には義歯課と連携を取りながらFCKからジルコニア、インプラントまでを患者さまをイメージしながら快適な口腔内を創造できるように、技工に取り組んでおります。



露木 亜矢子

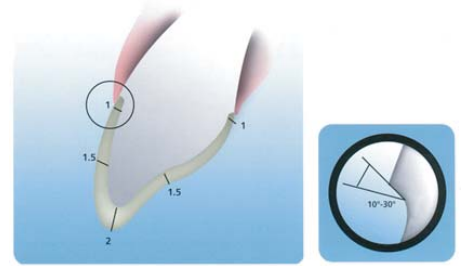
技工士としてアイディシーに入社して12年目になります。最近、エンプレス・e.max Pressの仕事が急激に増え、審美に対する患者さまの関心と需要の高さを感じます。違和感が無い補綴製作は当然ながら、1本1本キレイな物を製作するために、日々真剣に取り組んでおります。



編集後記 : 6月1日から9月30日の期間でクールビズ実施いたします。この期間ノージャケットでの対応となります。ご理解のほどよろしくお願い致します。 37号ご披見ありがとうございました。 編集人:M.S

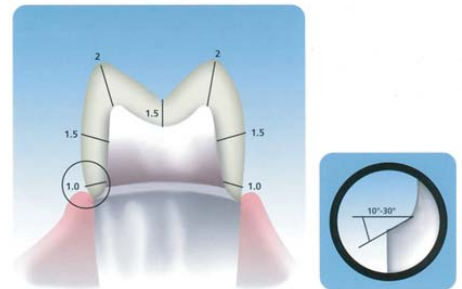
クラウン

解剖学的な形態を考慮しながら均一に切削し、最低限必要な厚みを確保します。マージン部は約 $10^{\circ} \sim 30^{\circ}$ の角度をつけて内側のエッジを丸くします。全周 (360°) にシャンファア又はショルダー形成を行います。ショルダー / シャンファアの幅は約 1mm です。前歯クラウンの切端から約三分の一の部分を約 1.5mm 削除します。インサイザルとオクルーザル部分を約 1.5mm ~ 2mm 削除します。前歯クラウンの場合、唇側および / または、口蓋側 / 舌側を約 1.0mm ~ 1.5mm 削除します。



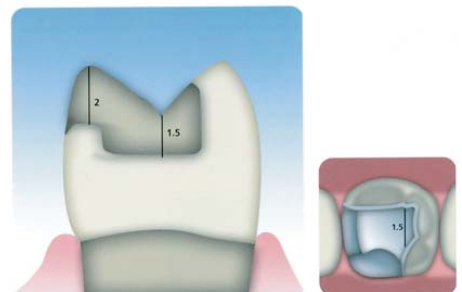
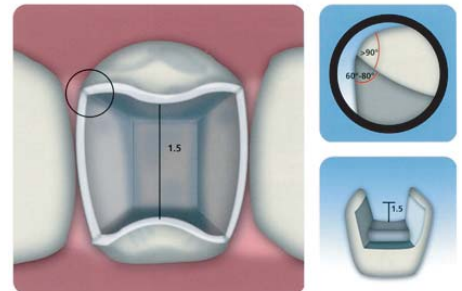
インレー

対合歯とのコンタクト部分を考慮しながら形成して下さい。裂溝部では少なくとも深さが 1.5mm、イスマスの幅が 1.5mm になるように形成します。隣接ボックスは少しフレアー気味に形成します。隣接窩壁とインレーの隣接面の角度が 60° よりも大きくなるようにします。内側のエッジをラウンドに仕上げることによって陶材 (エンプレス・e.max Press) のストレスを防止します。スライスカットやフェザーエッジを形成しないで下さい。



オンレー

インレーと同様に形成します。咬頭部分は 2mm のスペースを確保します。ショルダーはシャンファア ($10^{\circ} \sim 30^{\circ}$) に形成し、陶材と歯牙の境目が目立たないようにします。咬頭からマージンまでの距離が約 0.5mm 未満かエナメル質が深くアンダーマインされているときはオンレーを適用して下さい。



ベニア

できるだけエナメル質部分のみ削除します。インサイザルの先端を含んだシャンファアタイプの形成か唇側面のみ単純な形成をして下さい。摩擦するエリアにマージンを設定しないで下さい。インサイザルの削除量は再玩したいインサイザル部分の透過性によって異なります。ベニアのインサイザルエッジを透明にしたいときは削除量を多くして下さい。(インサイザルの削除量: 約 1.0mm ~ 1.5mm) グループバーでオリエンテーショングループを作ると、エナメルの削除量をコントロールできます。最低限必要な厚みは形成方法によって約 0.6mm ~ 1.0mm の厚みにします。隣接コンタクトを取り除く必要はありません。変色歯の場合は必要ならば削除量を増やして下さい。約 $10^{\circ} \sim 30^{\circ}$ の角度 (クラウンと同様) で歯頸部付近でのマージン処理はシャンファアかショルダーを形成して下さい。

